

# 7日から8日の 天気の見通しについて

この資料は、6月6日11時時点の予想に基づいて作成したものですので、最新の気象情報は、気象台ホームページから確認ください。

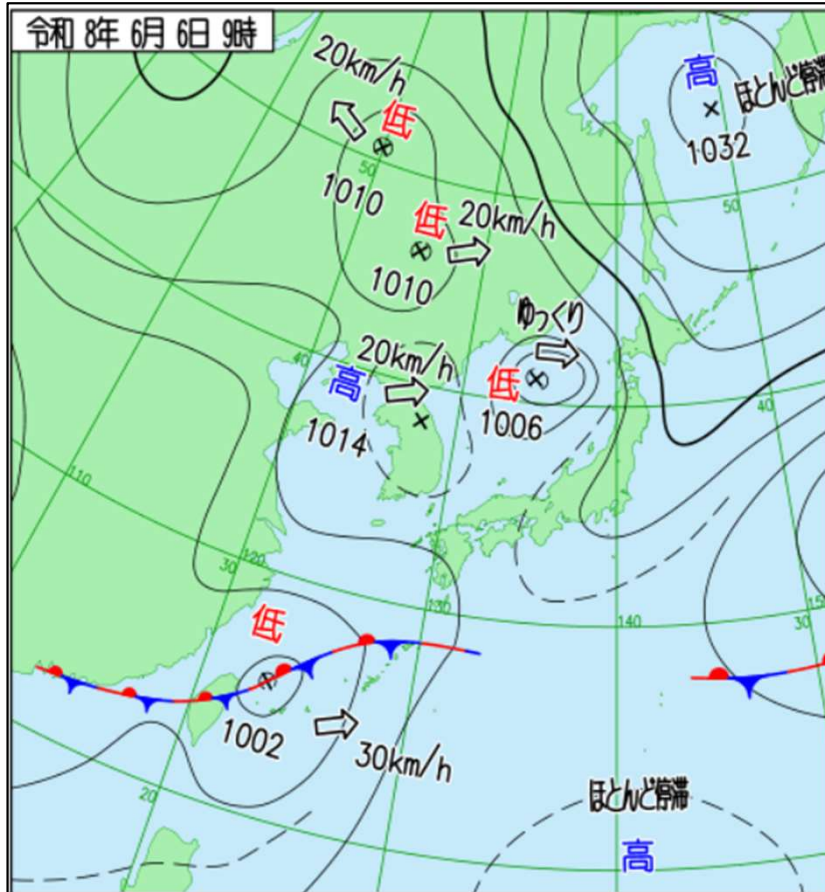
大阪管区気象台気象防災部予報課

# 低気圧や前線の影響のポイント

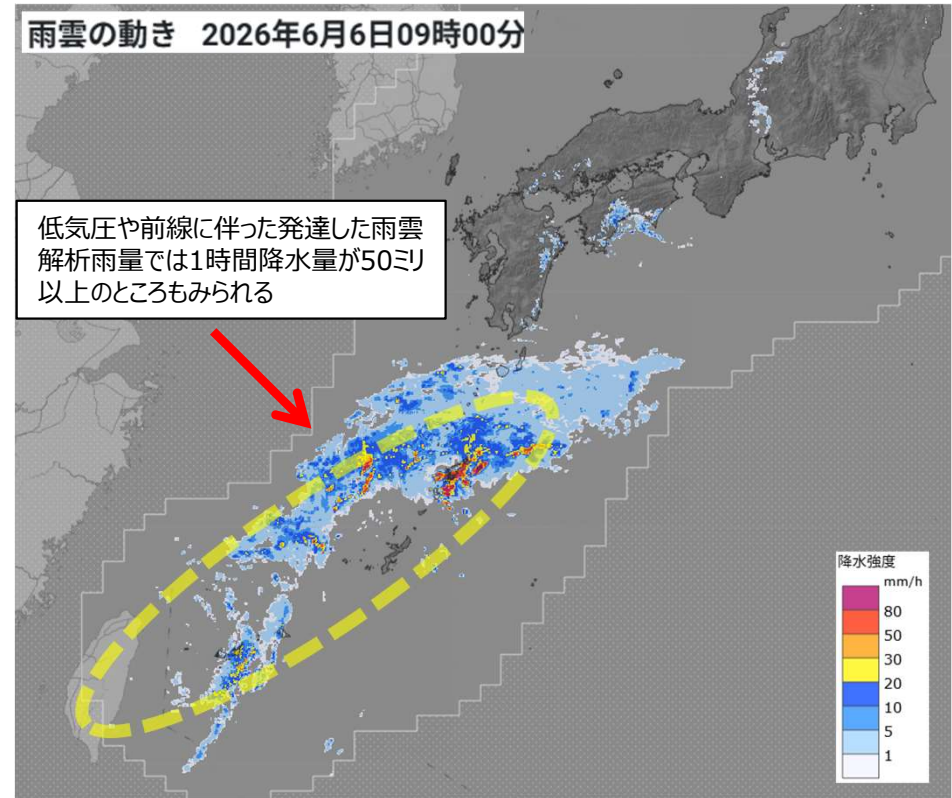
- ① 7日夜から8日午前中にかけて、前線を伴った低気圧が、紀伊半島沿岸を北東へ進む見込み。
- ② 和歌山県では、低気圧や前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込むため、大気の状態が非常に不安定となる。  
土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に十分注意。
- ③ 特に6月2日の台風第6号等の影響で降水量が多かった地域では地盤の緩んだ状態となっているため十分注意。

# 地上天気図と気象レーダー画像

令和8年6月6日09時



令和8年6月6日09時

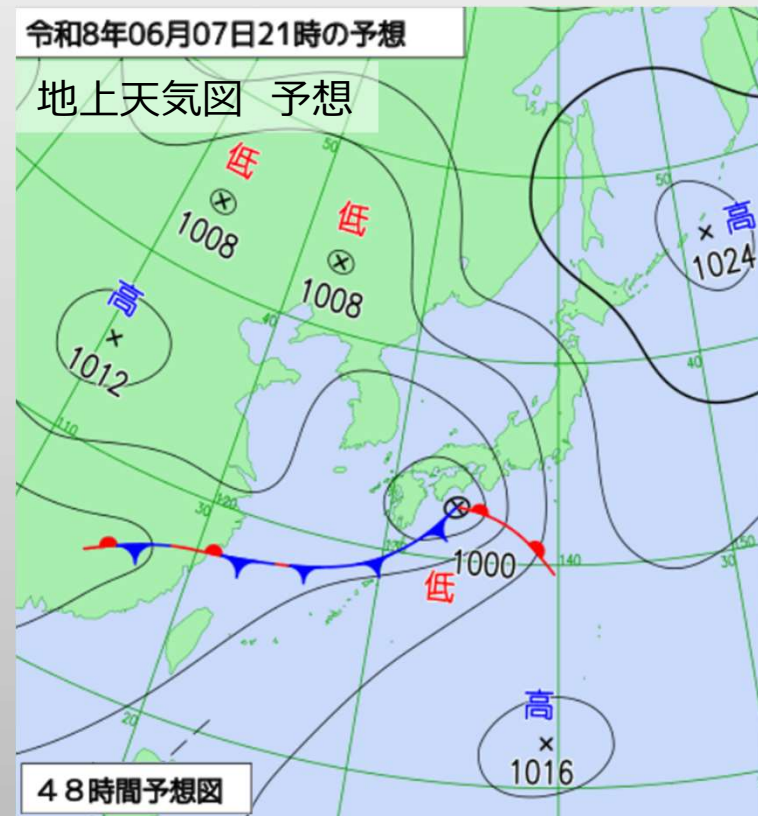
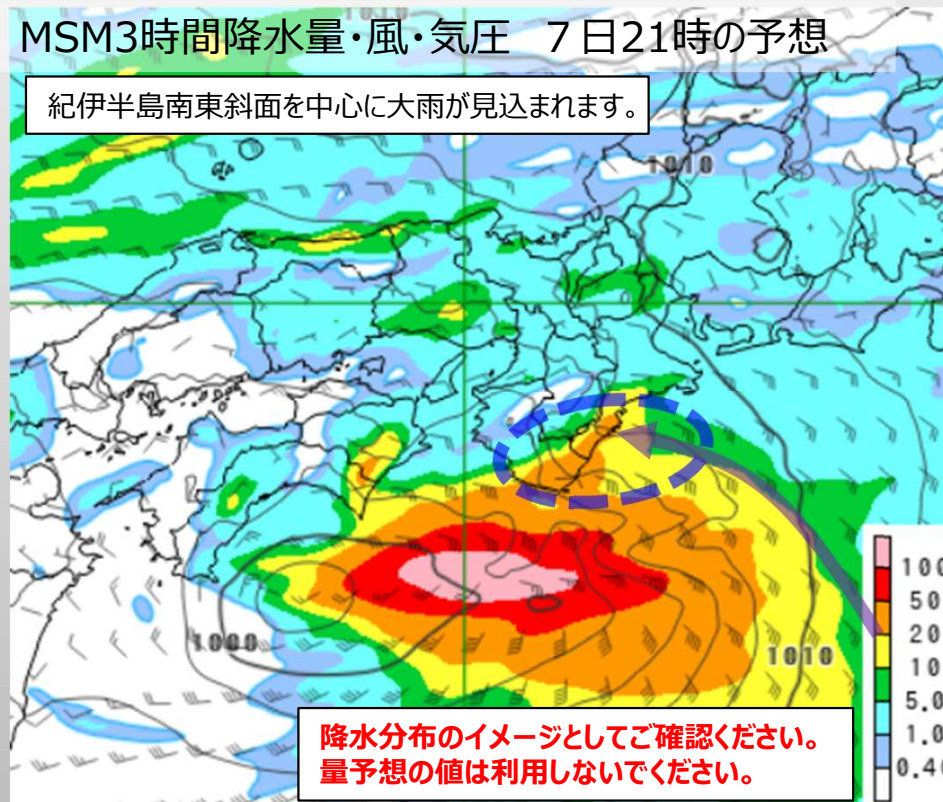


- 気象レーダーでは、低気圧と前線の周辺で発達した雨雲。解析雨量では1時間降水量が50ミリ以上のところもある

主な防災事項  
(6月7日から8日にかけて) (6日11時現在)

- 7日夜から8日午前中、**紀伊半島の南東斜面を中心に大雨のおそれ。**
- 7日昼過ぎから8日午前中にかけて、近畿南部では局地的に激しい雨や非常に激しい雨。
- 7日夜から8日午前中にかけて、土砂災害や低い土地の浸水、河川の増水に十分注意。
- 低気圧の中心が更に北を進む予想に変わった場合、更に降水が強まるおそれ。
- 雨雲が予想より発達した場合は、警報級の大雨となる可能性があります。

この図は数値予報の計算結果をそのまま画像化したものであり、実際に発表する天気予報等とは異なります。



# 今後の気象状況

6日 11時現在

## 【近畿地方への影響】

		6日				7日								8日			
		12-15	15-18	18-21	21-24	00-03	03-06	06-09	09-12	12-15	15-18	18-21	21-24	00-06	06-12	12-18	18-24
大雨	近畿北部																
	近畿中部																
	近畿南部																
土砂災害	近畿北部																
	近畿中部																
	近畿南部																
最大風速	近畿北部陸上	5	5	5	3	3	3	4	6	6	8	8	6				
	近畿北部海上	7	8	8	7	7	7	8	10	10	12	12	10				
	近畿中部陸上	6	8	8	8	8	8	8	10	12	12	13	13				
	近畿中部海上	8	10	10	10	10	10	10	12	15	15	18	18				
	近畿南部陸上	6	6	5	4	6	6	8	8	12	12	12	12				
	近畿南部海上	8	8	7	6	8	8	10	12	15	18	18	18				
波高(m)	近畿北部	0.5	0.5	0.5	0.5	1	1	1	1	1	1	1.5	1.5				
	近畿中部	1	1.5	1.5	1	1	1	1.5	1.5	2	2.5	3	3				
	近畿南部	2	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2	2.5	3	3	4				

早期注意情報[中]

		6日				7日								8日			
		12-15	15-18	18-21	21-24	00-03	03-06	06-09	09-12	12-15	15-18	18-21	21-24	00-06	06-12	12-18	18-24
近畿北部	1時間最大雨量(mm)	5	5	1	0	0	0	0	1	10	15	15	10				
	24時間最大雨量(mm)	10				50				50							
近畿中部	1時間最大雨量(mm)	5	5	1	0	1	0	3	10	20	20	20	20				
	24時間最大雨量(mm)	20				60				80							
近畿南部	1時間最大雨量(mm)	3	3	0	0	0	3	10	15	30	40	60	60				
	24時間最大雨量(mm)	30				180				200							

何れも多い所で

1時間降水量      7日  
 近畿北部          15㎍  
 近畿中部          20㎍  
 近畿南部          60㎍

何れも多い所で

24時間降水量 ( 6日 12時 ~ 7日 12時 )  
 近畿北部          10㎍  
 近畿中部          20㎍  
 近畿南部          30㎍  
 ( 7日 12時 ~ 8日 12時 )  
 近畿北部          50㎍  
 近畿中部          80㎍  
 近畿南部          200㎍

# 和歌山県の予想

和歌山県北部	地域	6日				7日								8日			
		12-15	15-18	18-21	21-24	00-03	03-06	06-09	09-12	12-15	15-18	18-21	21-24	00-06	06-12		
1時間最大雨量(mm)		3	0	0	0	0	0	3	10	10	20	20	20				
24時間最大雨量(mm)		20								80							
										60							
大雨																	
土砂災害																	
強風(m/s)	陸上	5	6	6	4	6	6	8	8	12	12	12	12				
	海上	8	10	10	8	8	8	10	12	15	15	15	15				
波浪(m)		1	1.5	1.5	1	1	1	1.5	1.5	2	2.5	3	3				
和歌山県南部	地域	6日				7日								8日			
		12-15	15-18	18-21	21-24	00-03	03-06	06-09	09-12	12-15	15-18	18-21	21-24	00-06	06-12		
1時間最大雨量(mm)		3	0	0	0	0	3	10	15	30	40	60	60				
24時間最大雨量(mm)		30								200							
										180							
大雨																	
土砂災害																	
強風(m/s)	陸上	6	6	5	4	6	6	8	8	12	12	12	12				
	海上	8	8	7	6	8	8	10	12	15	18	18	18				
波浪(m)		2	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2	2.5	3	3	4				

     早期注意情報[中]

何れも多い所で  
1時間降水量            7日  
  北部                    20㍓  
  南部                    60㍓

何れも多い所で  
24時間降水量 ( 6日 12時 ~ 7日 12時 )  
  北部                    20㍓  
  南部                    30㍓  
24時間降水量 ( 7日 12時 ~ 8日 12時 )  
  北部                    80㍓  
  南部                    200㍓

# 三重県の予想

三重県の時系列情報（明日までの警報等の見通し）														
2026年06月06日11時00分発表														
三重県北中部	6日				7日				8日	備考・関連する現象				
	12-15	15-18	18-21	21-24	00-03	03-06	06-09	09-12				12-15	15-18	18-21
1時間最大雨量 (mm)	0	0	0	0	0	0	3	5	15	20	30	30		
24時間最大雨量 (mm)	15				100									
大雨														
土砂災害														
高潮	潮位 (m)	0.0	-0.2	0.5	0.6	0.4	0.0	0.5	0.5	0.1	-0.3	0.5	0.8	
三重県南部	6日				7日				8日	備考・関連する現象				
	12-15	15-18	18-21	21-24	00-03	03-06	06-09	09-12				12-15	15-18	18-21
1時間最大雨量 (mm)	0	0	0	0	0	1	10	10	30	30	50	50		
24時間最大雨量 (mm)	20				180									
大雨														
土砂災害														
高潮	潮位 (m)	-0.1	-0.2	0.4	0.5	0.3	0.1	0.4	0.4	0.0	-0.2	0.4	0.7	

三重県の早期注意情報（警報級の可能性）												
2026年06月06日11時 津地方気象台 発表												
北中部では、8日昼前までの期間内に、大雨、土砂災害警報を発表する可能性がある。												
南部では、8日昼前までの期間内に、大雨、土砂災害警報を発表する可能性がある。												
三重県北中部	6日		7日				8日		9日	10日	11日	
	警報級の可能性	12-18	18-24	00-06	06-12	12-18	18-24	00-12				12-24
大雨	-	-	-	-	[中]	[中]	[中]	-	-	-	-	
土砂災害	-	-	-	-	[中]	[中]	[中]	-	-	-	-	
暴風(雪)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
波浪	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
高潮	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
三重県南部	6日		7日				8日		9日	10日	11日	
	警報級の可能性	12-18	18-24	00-06	06-12	12-18	18-24	00-12				12-24
大雨	-	-	-	-	[中]	[中]	[中]	-	-	-	-	
土砂災害	-	-	-	-	[中]	[中]	[中]	-	-	-	-	
暴風(雪)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
波浪	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
高潮	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

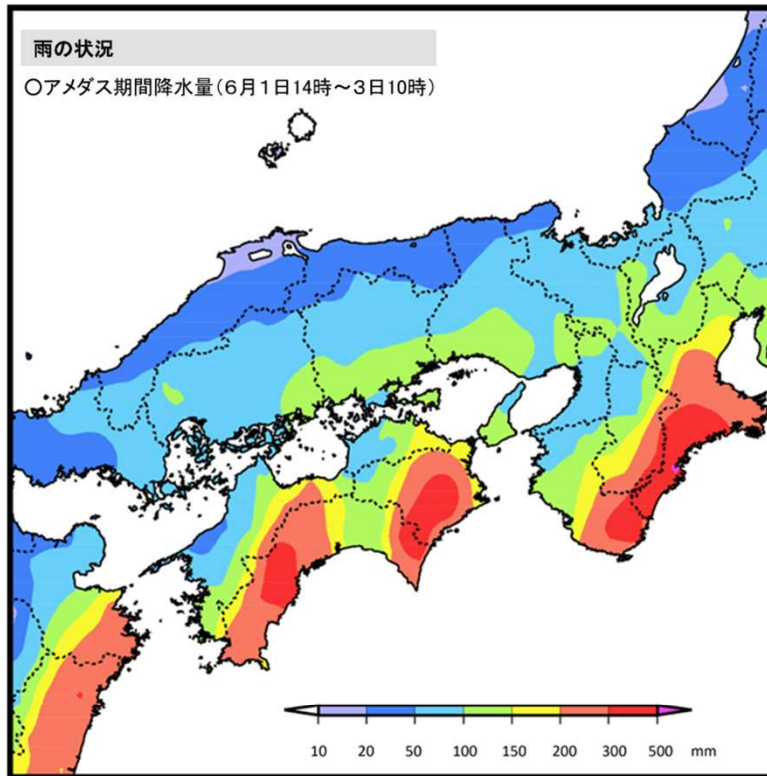
■ [高] ■ [中]

何れも多い所で  
1時間降水量  
三重県  
7日  
50ミリ

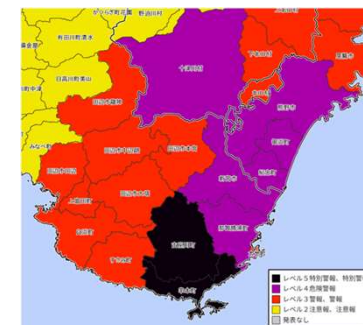
何れも多い所で  
24時間降水量（ 6日 12時 ～ 7日 12時 ）  
三重県  
20ミリ  
（ 7日 12時 ～ 8日 12時 ）  
三重県  
150ミリ

# 参考資料：令和8年台風第6号関連資料

[https://www.data.jma.go.jp/osaka/kikou/saigai/pdf/sokuhou/20260603\\_kanku.pdf](https://www.data.jma.go.jp/osaka/kikou/saigai/pdf/sokuhou/20260603_kanku.pdf)



## 古座川水系古座川に レベル5 氾濫特別警報発表

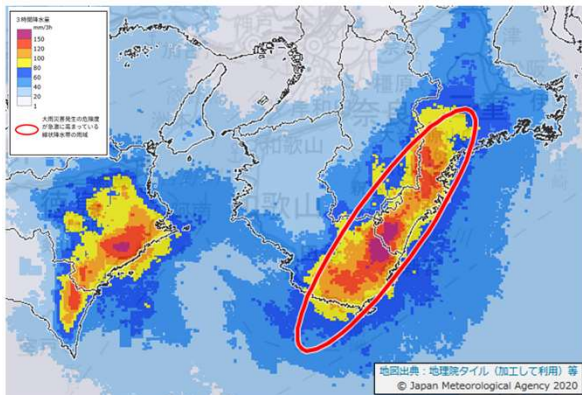


河川名	発表した地域名
古座川水系古座川	古座川町、串本町

### 防災気象情報の発表状況

6月2日から3日における、近畿・中国・四国地方の防災気象情報の発表状況です。情報の発表・解除時刻、対象細分区域など、より詳細な情報は、各地方気象台が発表する「気象速報」等をご覧いただくか、該当する気象台に直接お問い合わせください。

### 3時間降水量 2026年06月03日01時50分



### ○気象解説情報(線状降水帯半日前予測)

発表日時	情報名及び番号
6月2日	10時14分 徳島県気象解説情報(線状降水帯半日前予測) 第1号
	13時03分 高知県気象解説情報(線状降水帯半日前予測) 第1号
	16時03分 和歌山県気象解説情報(線状降水帯半日前予測) 第1号
	18時03分 奈良県気象解説情報(線状降水帯半日前予測) 第1号

### ○気象防災速報(線状降水帯直前予測)

発表日時	対象区域	情報名及び番号
6月2日	高知県中部、高知県西部、徳島県北部	全般気象解説情報(台風第6号) 第14号 ※
	徳島県南部	全般気象解説情報(台風第6号) 第16号 ※
6月3日	和歌山県南部、徳島県南部	全般気象解説情報(台風第6号) 第17号 ※

### ○気象防災速報(線状降水帯発生)

発表日時	対象区域	情報名及び番号
6月3日	01時21分 徳島県南部	全般気象解説情報(台風第6号) 第18号 ※
	02時10分 和歌山県南部	全般気象解説情報(台風第6号) 第19号 ※

府県名	大雨			土砂災害			河川氾濫			高潮			暴風警報	波浪警報
	レベル5	レベル4	レベル3	レベル5	レベル4	レベル3	レベル5	レベル4	レベル3	レベル5	レベル4	レベル3		
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	○	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	○	○	○	○	○	○	-	-	-	○	○
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-
香川県	-	-	○	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	○	○	○	-	○	○	-	-	-	○	○
愛媛県	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○
高知県	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○

※河川氾濫に関する情報の一部は、隣接府県の気象台と関係機関が共同発表しています。

今後の予想を含めた最新の情報は、以下からご利用ください。

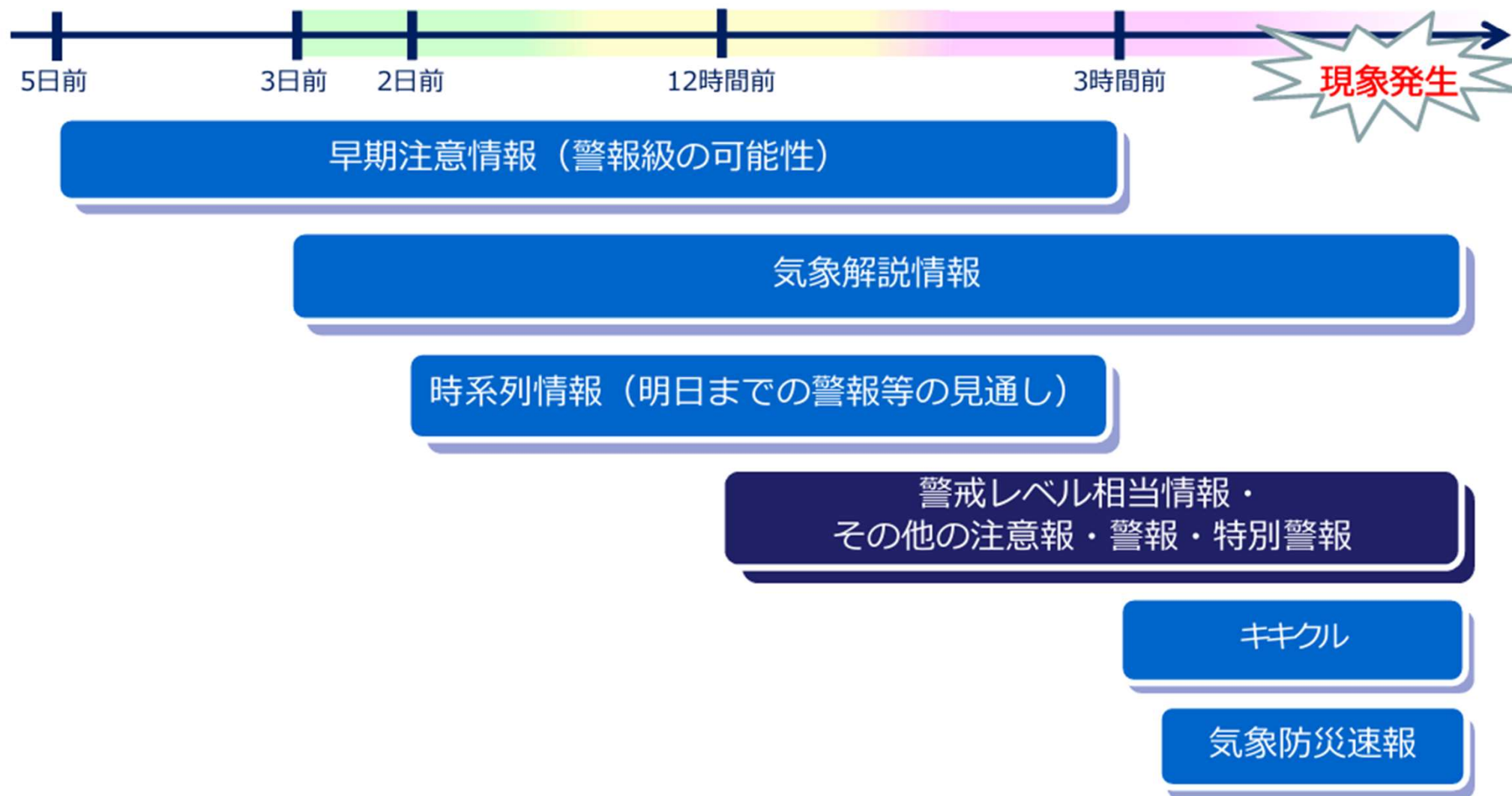
- 早期注意情報注意情報（警報級の可能性） <https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=probability>
- 時系列情報（明日までの警報等の見通し） [https://www.jma.go.jp/bosai/warning\\_timeline](https://www.jma.go.jp/bosai/warning_timeline)
- 気象警報・注意報（大雨、洪水、暴風（雪）、波浪、高潮、大雪などによる災害への警戒・注意を呼びかける）  
<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=warning>
- キキクル（どこで土砂災害、浸水害、洪水害の危険度が高まっているかを地図上で表示）
  - 土砂キキクル <https://www.jma.go.jp/bosai/risk/#elements:land/>
  - 大雨キキクル <https://www.jma.go.jp/bosai/risk/#elements:heavyrain/>
  - 浸水キキクル <https://www.jma.go.jp/bosai/risk/#elements:inund>
  - 洪水キキクル <https://www.jma.go.jp/bosai/risk/#elements:flood>
- 気象防災速報・気象解説情報（警報や注意報に先立って注意を呼びかけたり、警報や注意報の内容を補足）  
<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=information&element=information>
- 台風情報（台風の位置・強さ・速度などの解析・予報、大雨や暴風の見通し）  
<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=typhoon>
- 指定河川洪水予報（国や都道府県の管理する主な河川の氾濫の危険度を予測）  
<https://www.jma.go.jp/bosai/flood/>
- 最新の気象データ（雨雲の動き（雨・雷・竜巻）、今後の雨、雨や風の観測データ、衛星画像）  
<https://www.jma.go.jp/bosai/nowc/>  
<https://www.jma.go.jp/bosai/kaikotan/>  
[https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/mdrr/pre\\_rct/index24\\_rct.html](https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/mdrr/pre_rct/index24_rct.html)  
[https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/mdrr/wind\\_rct/index\\_mxwsp.html](https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/mdrr/wind_rct/index_mxwsp.html)  
<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=himawari>
- 14か国語による防災気象情報の提供  
<https://www.jma.go.jp/jma/kokusai/multi.html>
- 避難行動判定フロー・避難情報のポイント（内閣府（防災担当））  
[http://www.bousai.go.jp/oukyu/hinanjouhou/r3\\_hinanjouhou\\_guideline/pdf/point.pdf](http://www.bousai.go.jp/oukyu/hinanjouhou/r3_hinanjouhou_guideline/pdf/point.pdf)



@JMA\_bousai

気象庁公式の防災情報アカウントを開設しました。台風接近や大雨のおそれがある場合等に、現況や今後の見通し、防災上の留意点、緊急会見の内容等を解説します。

- 警戒レベル相当情報とあわせて、**段階的に発表される様々な防災気象情報を防災対応の判断に活用**することが重要です。
  - 早期注意情報や時系列情報等は、心構えを高め、事前の体制確保の検討に活用。
  - キキクルや気象防災速報は、避難の判断や後押しに活用してください。



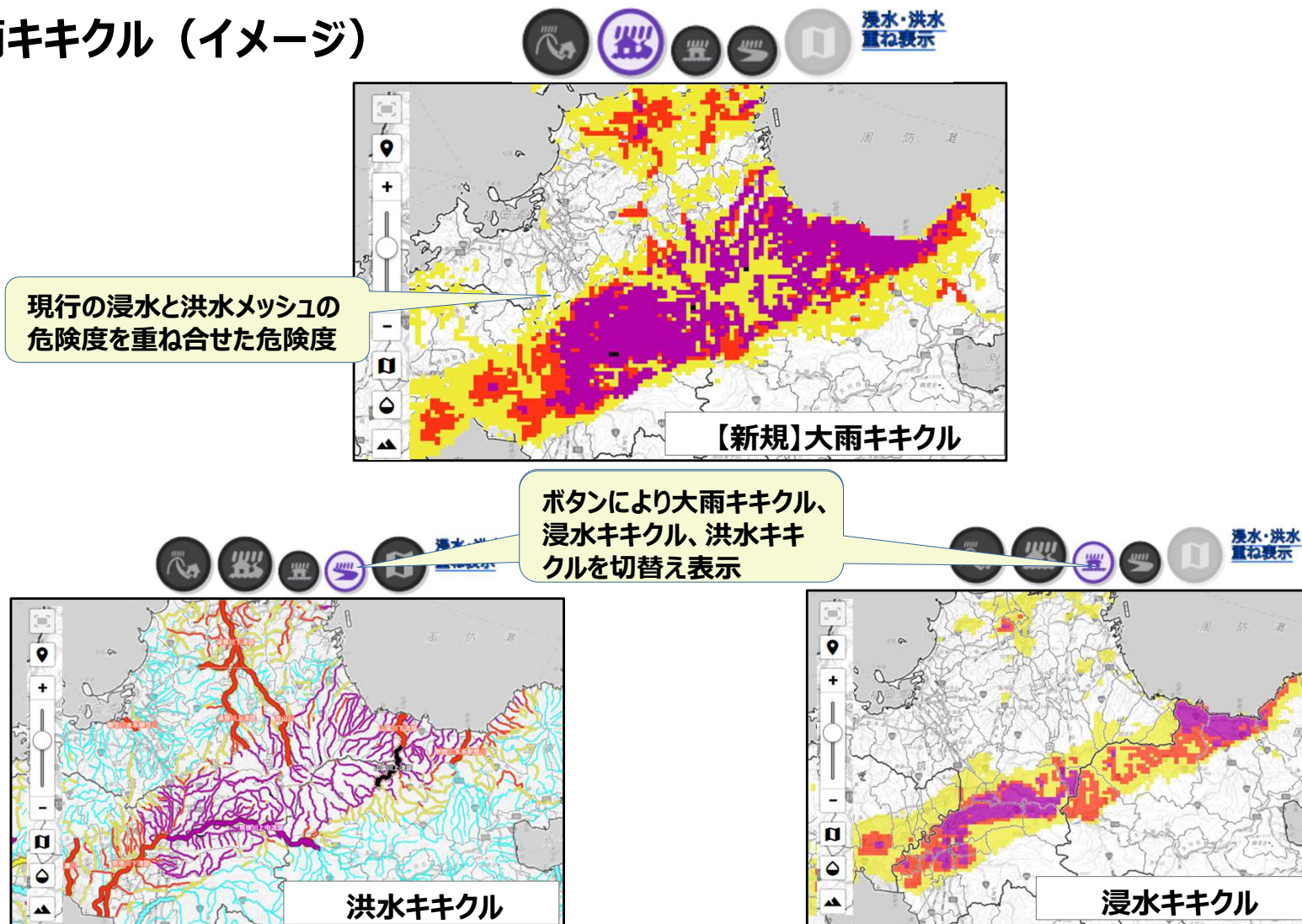
- 防災気象情報（河川氾濫、大雨、土砂災害、高潮）を5段階の警戒レベルにあわせて発表します。
- 対象災害ごとの情報として整理するとともに、**レベル4相当の情報として危険警報を新設します。**
- **情報名称そのものにレベルの数字を付けて発表します。**（例：レベル4大雨危険警報等）

## 新しい防災気象情報の情報体系とその名称

	河川氾濫 1級河川などの 大河川の氾濫	大雨 低地の浸水や 大河川以外の氾濫	土砂災害 急傾斜地のがけ崩れや 土石流	高潮 海水面の上昇や 波の打上げによる浸水	(警戒レベルごとの) 住民が とるべき行動
<b>警戒レベル 5相当</b>	<b>レベル5 氾濫特別警報</b>	<b>レベル5 大雨特別警報</b>	<b>レベル5 土砂災害特別警報</b>	<b>レベル5 高潮特別警報</b>	命の危険 直ちに安全確保！
----- <警戒レベル4までに危険な場所から かならず避難！> -----					
<b>警戒レベル 4相当</b>	<b>レベル4 氾濫危険警報</b>	<b>レベル4 大雨危険警報</b>	<b>レベル4 土砂災害危険警報</b>	<b>レベル4 高潮危険警報</b>	危険な場所から全員避難
<b>警戒レベル 3相当</b>	<b>レベル3 氾濫警報</b>	<b>レベル3 大雨警報</b>	<b>レベル3 土砂災害警報</b>	<b>レベル3 高潮警報</b>	避難に時間を要する人は早めに避難、避難の準備など
<b>警戒レベル 2</b>	<b>レベル2 氾濫注意報</b>	<b>レベル2 大雨注意報</b>	<b>レベル2 土砂災害注意報</b>	<b>レベル2 高潮注意報</b>	避難行動を確認（避難場所や避難ルート、避難のタイミングなど）
<b>警戒レベル 1</b>	<b>早期注意情報</b>				災害への心構えを高める

- 大雨に関する情報が発表された際に、**危険度が高まっている地域を確認**することができます。
- 大雨に関する情報が対象としている**河川の氾濫の危険度（洪水キキクル）**や**短時間強雨による浸水害の危険度（浸水キキクル）**を重ねて大雨キキクルとして新規表示します。
- **洪水キキクルと浸水キキクルについて切替え表示**で、洪水災害・浸水害それぞれの危険度の確認が可能です。

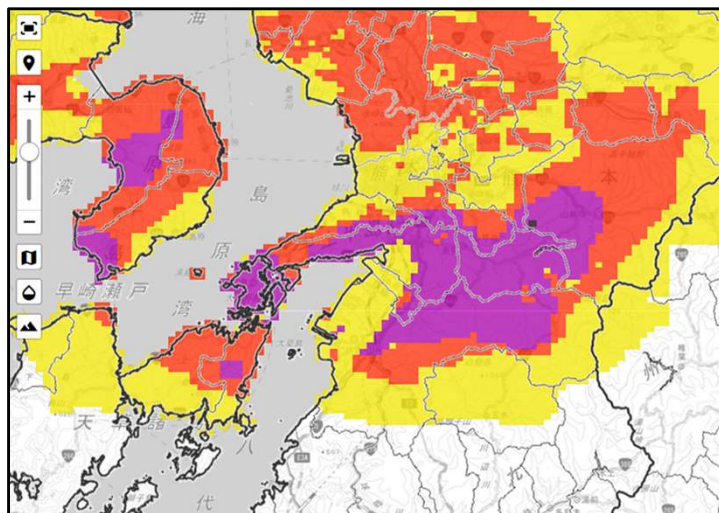
## 大雨キキクル（イメージ）



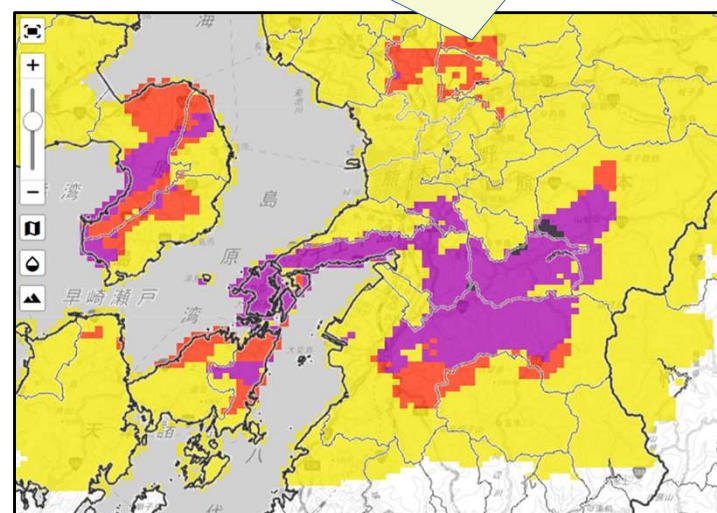
- 土砂災害に関する情報が発表された際に、**危険度が高まっている地域を確認**することができます。
- 判定基準の変更に伴い、現行に比べて**警戒（赤）が絞り込まれるとともに、注意（黄）から危険（紫）になることが多くなる**傾向がありますので、表示の特性の変化にご留意ください。

## 土砂キキクルの特性変化（イメージ）

現行



新運用



現行に比べて赤が絞り込まれ、黄から紫になることが多くなる傾向

### 危険度の判定方法の変更

■ **災害切迫【警戒レベル5相当】**

実況でレベル5 土砂災害特別警報基準到達（変更なし）

■ **警戒【警戒レベル3相当】**

<現行> 2時間先までに大雨警報（土砂災害）基準到達

<新運用> **3時間先にレベル4 土砂災害危険警報基準**到達

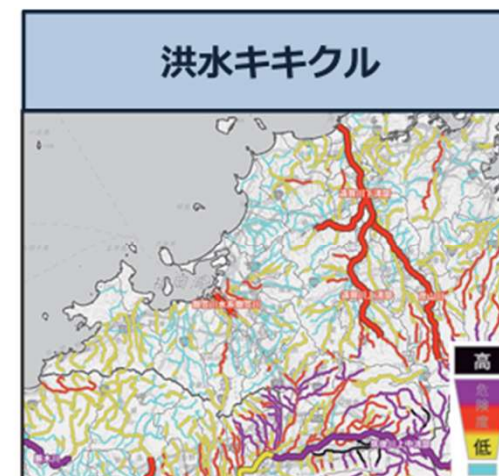
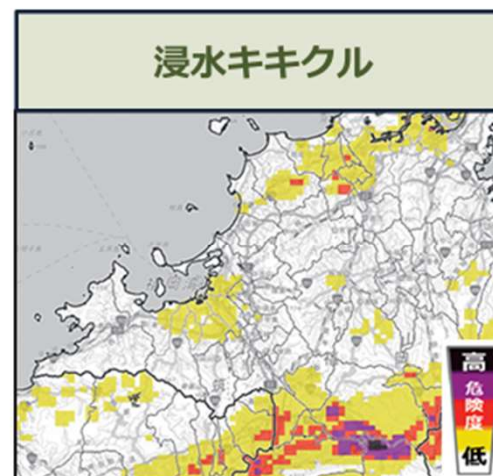
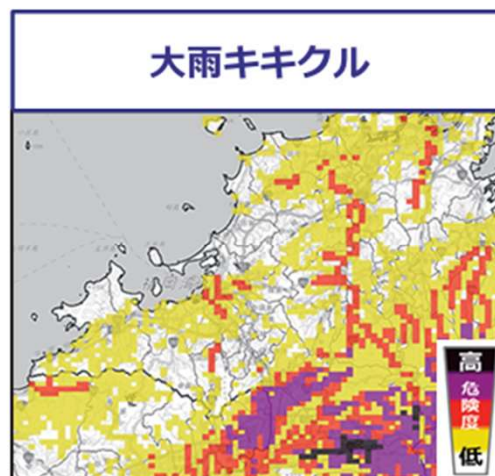
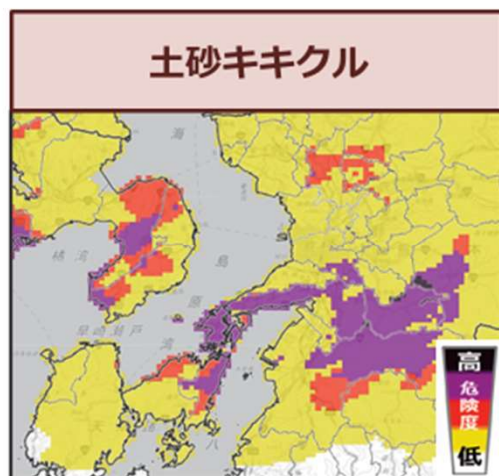
■ **危険【警戒レベル4相当】**

2時間先までにレベル4 土砂災害危険警報基準到達（変更なし）

■ **注意【警戒レベル2相当】**

<現行> 2時間先までに大雨注意報基準到達

<新運用> **6時間先**までにレベル2 土砂災害注意報基準到達



**「紫」が出現した段階で  
速やかに安全な場所に避難する判断を！**

「キキクル」の「災害切迫（黒）」は、大雨による災害が**すでに発生**している可能性が高い状況であり、災害が発生する前に**いつも出現**するとは限りません。このため、「黒」を待つことなく、「紫」が出現した段階で、速やかに安全な場所に避難することが極めて重要です。

文章情報

### 半日前予測

半日程度前からの呼びかけ

令和4年	地方単位で予測
↓	
令和6年	<b>府県単位</b> で 発生の半日程度前に予測

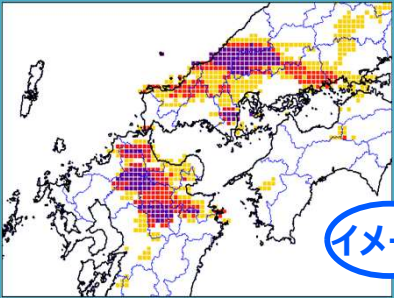
〇〇県では、〇〇から〇〇にかけて、線状降水帯が発生して大雨災害発生の危険度が急激に高まる可能性があります。

図情報

**計画**

令和11年

線状降水帯発生による大雨の  
可能性が高い**市町村**を把握  
できる格子形式の分布図を表示※1



イメージ

※ 従前の計画通り令和11年に提供開始予定。  
令和12年度運用開始予定の次期静止気象衛星により  
更なる予測精度向上を目指す。

### 直前予測

確度の高い直前の予測

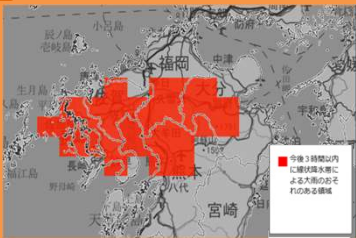
令和8年	〇〇県北部などの <b>一次細分区域単位</b> で 線状降水帯となる <b>2～3時間前</b> を目標に予測
------	---

〇〇県北部では、今後3時間以内に線状降水帯が発生し、非常に激しい雨が同じ場所で降り続く可能性が高まっています。命に危険が及ぶ災害の危険度が非常に高まるおそれがあります。

### 線状降水帯予測マップ

令和8年

線状降水帯となり、災害をもたらす  
大雨のおそれがある**大まかな領域**を  
**2～3時間前**を目標に  
図情報で表示




### 発生情報

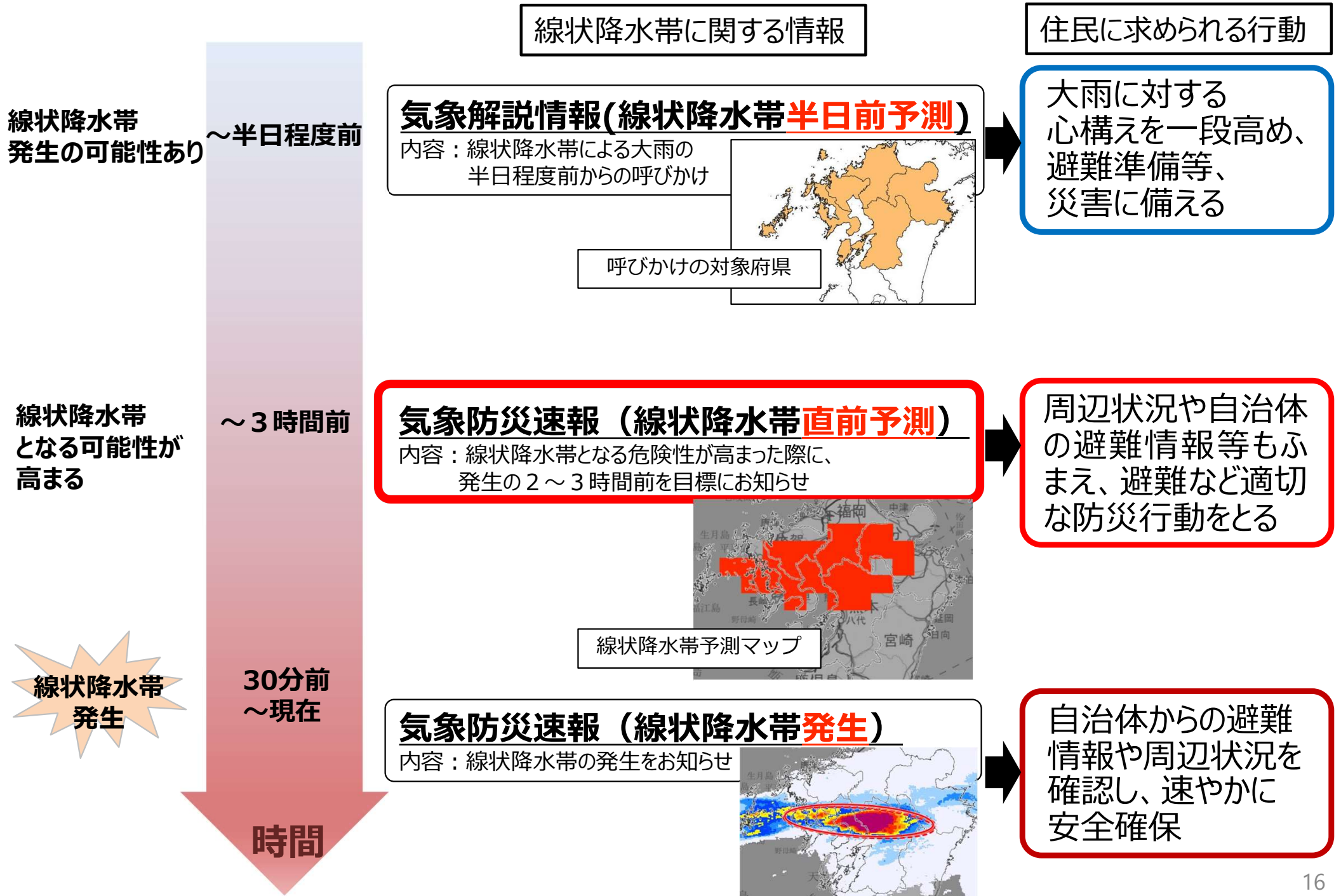
令和3年	〇〇県北部などの 一次細分区域単位で 線状降水帯の発生をお知らせ <b>+ 追加</b>
令和5年	最大 <b>30分</b> 程度前倒し

〇〇県北部では、線状降水帯による非常に激しい雨が同じ場所で降り続いています。命に危険が及ぶ災害発生の危険度が急激に高まっています。

令和3年	線状降水帯の雨域を 楕円で表示 最大30分程度前倒して解析した結果も 楕円で表示（令和5年～）
------	--



「雨雲の動き」・「今後の雨」  
に楕円を表示



## 風の強さと吹き方

(平成12年8月作成)、(平成14年1月一部改正)、(平成19年4月一部改正)、(平成25年3月一部改正)、(平成29年9月一部改正)

### [風の強さと吹き方\(pdf\)](#)

風の強さ (予報用語)	平均風速 (m/s)	およその時速	速さの目安	人への影響	屋外・樹木の様子	走行中の車	建造物	およその瞬間風速 (m/s)
やや強い風	10以上 15未満	～50km	一般道路の自動車	風に向かって歩きにくくなる。傘がさせない。	樹木全体が揺れ始める。電線が揺れ始める。	道路の吹流しの角度が水平になり、高速運転中では横風に流される感覚を受ける。	樋(とい)が揺れ始める。	20
強い風	15以上 20未満	～70km		風に向かって歩けなくなり、転倒する人も出る。高所での作業はきわめて危険。	電線が鳴り始める。看板やトタン板が外れ始める。	高速運転中では、横風に流される感覚が大きくなる。	屋根瓦・屋根葺材がはがれるものがある。雨戸やシャッターが揺れる。	
非常に強い風	20以上 25未満	～90km	高速道路の自動車	何かにつかまっていなくて立ってられない。飛来物によって負傷するおそれがある。	細い木の幹が折れたり、根の張っていない木が倒れ始める。看板が落下・飛散する。道路標識が傾く。	通常で運転するのが困難になる。	屋根瓦・屋根葺材が飛散するものがある。固定されていないプレハブ小屋が移動、転倒する。ビニールハウスのフィルム(被覆材)が広範囲に破れる。	40
	25以上 30未満	～110km						
猛烈な風	30以上 35未満	～125km	特急電車	屋外での行動は極めて危険。	多くの樹木が倒れる。電柱や街灯で倒れるものがある。ブロック壁で倒壊するものがある。	走行中のトラックが横転する。	固定の不十分な金属屋根の葺材がめくれる。養生の不十分な仮設足場が崩落する。	50
	35以上 40未満	～140km					外装材が広範囲にわたって飛散し、下地材が露出するものがある。	
	40以上	140km～					住家で倒壊するものがある。鉄骨構造物で変形するものがある。	

(注1) 強風によって災害が起こるおそれのあるときは強風注意報を、暴風によって重大な災害が発生するおそれのあるときは暴風警報を、さらに重大な災害が起こるおそれが著しく大きいときは暴風特別警報を発表して警戒や注意を呼びかけます。なお、警報や注意報の基準は地域によって異なります。

(注2) 平均風速は10分間の平均、瞬間風速は3秒間の平均です。風の吹き方は絶えず強弱の変動があり、瞬間風速は平均風速の1.5倍程度になることが多いですが、大気の状態が不安定な場合等は3倍以上になることがあります。

(注3) この表を使用される際は、以下の点にご注意下さい。

1. 風速は地形や周りの建物などに影響されますので、その場所での風速は近くにある観測所の値と大きく異なることがあります。
2. 風速が同じであっても、対象となる建物、構造物の状態や風の吹き方によって被害が異なる場合があります。この表では、ある風速が観測された際に、通常発生する現象や被害を記述していますので、これより大きな被害が発生したり、逆に小さな被害にとどまる場合もあります。
3. 人や物への影響は日本風工学会の「瞬間風速と人や街の様子との関係」を参考に作成しています。今後、表現など実状と合わなくなった場合には内容を変更することがあります。

## 雨の強さと降り方

(平成12年8月作成)、(平成14年1月一部改正)、(平成29年3月一部改正)、(平成29年9月一部改正)

1時間雨量 (mm)	予報用語	人の受けるイメージ	人への影響	屋内 (木造住宅を想定)	屋外の様子	車に乗っていて
10以上～ 20未満	やや強い雨	ザーザーと降る	地面からの跳ね返りで足元がぬれる	雨の音で話し声が良く聞き取れない	地面一面に水たまりができる	
20以上～ 30未満	強い雨	どしゃ降り				ワイパーを速くしても見づらい
30以上～ 50未満	激しい雨	バケツをひっくり返したように降る	傘をさしていてもぬれる	寝ている人の半数くらいが雨に気がつく	道路が川のようになる	高速走行時、車輪と路面の間に水膜が生じブレーキが効かなくなる(ハイドロプレーニング現象)
50以上～ 80未満	非常に激しい雨	滝のように降る(ゴーゴーと降り続く)			水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる	車の運転は危険
80以上～	猛烈な雨	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感ずる	傘は全く役に立たなくなる			

(注1) 大雨によって災害が起こるおそれのあるときは大雨注意報や洪水注意報を、重大な災害が起こるおそれのあるときは大雨警報や洪水警報を、さらに重大な災害が起こるおそれが著しく大きいときは大雨特別警報を発表して警戒や注意を呼びかけます。なお、警報や注意報の基準は地域によって異なります。

(注2) 数年に一度程度しか発生しないような短時間の大雨を観測・解析したときには記録的短時間大雨情報を発表します。この情報が発表されたときは、お住まいの地域で、土砂災害や浸水害、中小河川の洪水害の発生につながるような猛烈な雨が降っていることを意味しています。なお、情報の基準は地域によって異なります。

## 台風の大きさと強さ

気象庁は台風のおおよその勢力を示す目安として、下表のように風速(10分間平均)をもとに台風の「大きさ」と「強さ」を表現します。「大きさ」は強風域(風速15m/s以上の風が吹いているか、吹く可能性がある範囲)の半径で、「強さ」は最大風速で区分しています。

さらに、風速25m/s以上の風が吹いているか、吹く可能性がある範囲を暴風域と呼びます。

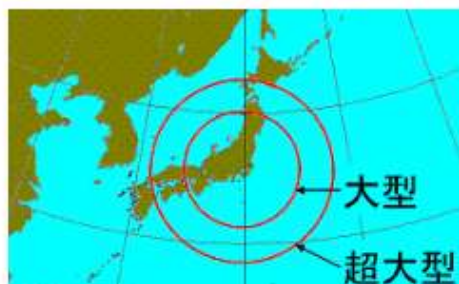
### 強さの階級分け

階級	最大風速
強い	33m/s(64ノット)以上～44m/s(85ノット)未満
非常に強い	44m/s(85ノット)以上～54m/s(105ノット)未満
猛烈な	54m/s(105ノット)以上

### 大きさの階級分け

階級	風速15m/s以上の半径
大型(大きい)	500km以上～800km未満
超大型(非常に大きい)	800km以上

大型、超大型の台風それぞれの大きさは、日本列島の大きさと比較すると以下ようになります。



台風に関する情報の中では台風の大きさと強さを組み合わせて、「大型で強い台風」のように呼びます。ただし、強風域の半径が500km未満の場合には大きさを表現せず、最大風速が33m/s未満の場合には強さを表現しません。例えば「強い台風」と発表している場合、その台風は、強風域の半径が500km未満で、中心付近の最大風速は33～43m/sで暴風域を伴っていることを表します。

なお、台風情報では暴風域を円形で示します。この円内は暴風がいつ吹いてもおかしくない範囲です。

天気予報では、1日を3時間ごとに区切って、表現しています。

時間帯	一日の時間細分		
00:00～03:00	未明	午前中	
03:00～06:00	明け方		
06:00～09:00	朝		
09:00～12:00	昼前	午後	日中
12:00～15:00	昼過ぎ		
15:00～18:00	夕方		
18:00～21:00	夜のはじめ頃	夜	
21:00～24:00	夜遅く		

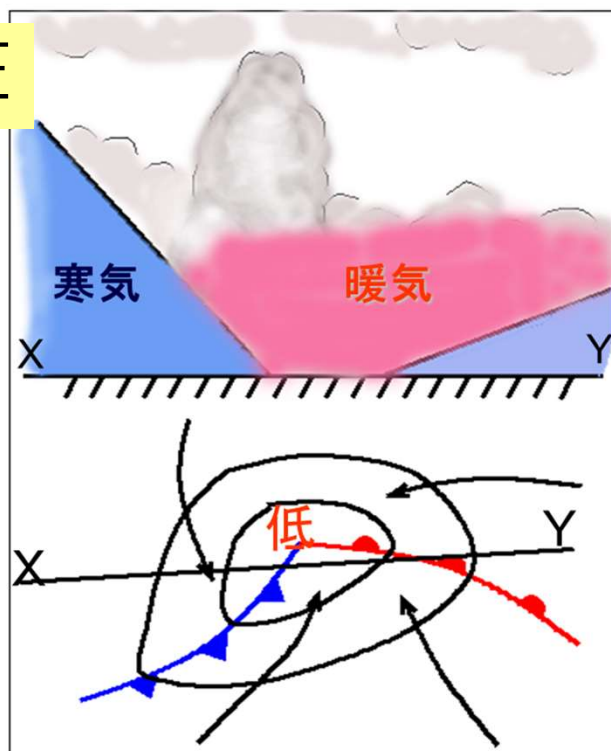
# 参考資料：台風と熱帯低気圧の違い

熱帯の海上で発生する低気圧を「熱帯低気圧」と呼びますが、このうち北西太平洋（赤道より北で東経180度より西の領域）または南シナ海に存在し、なおかつ**低気圧域内の最大風速（10分間平均）**がおよそ17m/s（34ノット、風力8）以上のものを「台風」と呼びます。

# 参考資料：台風と温帯低気圧の違い

## 温帯低気圧

寒気・暖気の温度差をエネルギーに発生・発達



X-Yの線で切った断面図

上から見た図

## 熱帯低気圧

熱帯の大量の暖かく湿った空気をエネルギーに発生・発達



